



SDGs 未来都市  
徳島市

令和六年度に向けた  
国の予算及び施策に関する  
**重要事項要望書**

令和5年8月

 **徳島市**

【白紙ページ】

日ごろは徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

本年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、社会もコロナ禍前の活気を徐々に取り戻しつつあると実感しております。本市としましても、関係機関と緊密に連携し、社会・経済活動の早急な回復と活性化に全力で取り組んでまいります。

さて、本市は令和4年5月に「SDGs 未来都市」に選定されました。「ダイバーシティ」と「パートナーシップ」を柱とし、本市ならではの取組を積極的に進めることで、「みんなでSDGsを実現するまち」を目指すとともに、『徳島市総合計画2021』に掲げる将来像である「わくわく実感！ 水都とくしま」の具現化に向け、「中心市街地の新たなまちづくり」をはじめ「地方創生」、「国土強靱化」などの重要課題に取り組んでいるところです。これらの諸課題に迅速・的確に対応し、「わくわくを実感できるまち」を実現させていくためには、貴職の一層のご支援・ご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、令和6年度の予算編成及び施策の決定に際し、このたび要望いたします本市重要事項について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

徳島市長 内藤 佐和子

【白紙ページ】

令和6年度に向けた  
国の予算及び施策に関する重要要望事項  
目次

主管省庁局	要 望 事 項	頁
デジタル庁 デジタル社会 共通機能グループ  総 務 省 自治行政局	基幹系情報システムの標準化・共通化に向けた 支援について	1
国土交通省 道 路 局	高規格道路網等の整備推進について	3
国土交通省 水管理・国土保全局	吉野川の直轄管理区間における洪水・地震津波 対策の促進について	7

# 基幹系情報システムの標準化・共通化 に向けた支援について

＜主管省庁局 デジタル庁デジタル社会共通機能グループ、  
総務省自治行政局＞

## 【要望の趣旨】

基幹系情報システムの標準化・共通化への対応について、目標時期である令和7年度末までに、計画的かつ円滑な標準準拠システムへの移行を図るため、必要となる支援及び措置を要望するもの。

### 現 況

- 本市では住民情報を扱う大部分の業務について、メインフレーム上で本市の事務案件に合わせて改修を重ねた独自内製システムを利用している。
- 推進体制として、ワーキンググループを立ち上げ、情報提供依頼（RFI）や標準準拠システムの調達等に係る作業を進めているが、担当職員は各所属の通常業務も受け持ちながら取り組んでいる。
- 情報提供依頼（RFI）を実施しても、ベンダからの提案がない業務がいくつかある。

### 課 題

- 独自内製システムから標準準拠システムに移行するため、多大な経費負担が必要になる。
- 今後、データ移行及び業務フローの見直し等に係る作業量が膨大になるため、目標時期までに移行を完了させるには、担当職員の業務負担が非常に大きくなる。
- 標準準拠システムの提供ベンダが見つからない場合は、目標時期までに移行を完了できないおそれがある。

目標時期までに移行を完了させるには、各自治体の実情に応じた体制整備を含む財源の確保、地方におけるベンダの人材確保が不可欠である。

### 具体的要望内容

次の2点について、特段のご配慮をお願いします。

1. 移行に係る支援として、担当職員の増員も視野に入れた追加の財政措置や、それに係る交付条件の緩和など各自治体の実情に応じた柔軟な措置を講じること。
2. ベンダに対し、地方においても人材不足に陥らないよう対策を講じること。

【徳島市担当部課】 総務部 デジタル推進課

# 徳島市基幹系情報システムの標準化・共通化対応ロードマップ

目標時期:  
令和7年度末

システム名		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
標準化・共通化対象のシステム(※20業務)	第1グループ 1.住民基本台帳 2.印鑑登録 3.介護保険 4.就学(学齢簿含む)	システム選定フェーズ	移行フェーズ	標準準拠システム稼働	
	5.障害者福祉	システム選定フェーズ	移行フェーズ	標準準拠システム稼働	
	第2グループ 6.児童手当 7.児童扶養手当 8.子ども・子育て支援 9.選挙人名簿管理 10.健康管理 11.生活保護 12.後期高齢者医療 13.国民年金	システム選定フェーズ	移行フェーズ	標準準拠システム稼働	
	オープン系システム 14.戸籍 15.戸籍の附票	オープン系システム稼働 システム選定フェーズ	移行フェーズ	標準準拠システム稼働	
<地方税システム> 16.固定資産税 17.個人住民税 18.法人住民税 19.軽自動車税	オープン系システム稼働		標準準拠システム稼働		
20.国民健康保険	システム選定フェーズ	移行フェーズ	標準準拠システム稼働		

**システム選定フェーズ**  
(※約1年半~2年程度)

- 1.ベンダに対する情報提供依頼(RFI)資料の作成
- 2.RFIの実施
- 3.RFI結果分析及び移行計画の詳細化
- 4.予算要求
- 5.ベンダへ提案依頼(RFP)
- 6.ベンダ選定・決定
- 7.契約・詳細スケジュールの確定
- 8.特定個人情報保護評価(PIA)

**移行フェーズ**  
(※約1年~2年程度)

- 9.システム移行時の設定
- 10.データ移行
- 11.テスト・研修
- 12.次期情報システム環境構築・NW
- 13.条例・規則等改正

・厳しいスケジュールの中で、膨大な作業を並行して行うため、担当職員に係る負担が非常に大きくなる。  
・全国の自治体が同時期に対応作業を実施するため、ベンダが人材不足に陥るおそれがある。

**担当職員の増員や対応作業を委託するベンダの人材確保が不可欠。**

## ※参考： 徳島市基幹系情報システムの標準化・共通化対応に係る想定経費

「標準準拠システム導入経費」 「デジタル基盤改革支援補助金」(※国の補助)  
約15.5億円(※参考経費) - 約2.5億円(※徳島市の上限額)

⇒ **約13億円**が本市の経費負担になることを想定。

※ 「標準準拠システム導入経費」については、情報提供依頼(RFI)を実施し、ベンダから提案があった標準化・共通化対象のシステム(※20業務)における導入経費を基に算出。  
ただし、ベンダから提案がなく導入経費等を算定できていない業務が一部あるため、今後それらの経費を加算すると導入経費はさらに増額する見込み。

# 高規格道路網等の整備推進について

＜主管省庁局 国土交通省 道路局＞

## 【要望の趣旨】

高規格道路ネットワークの機能を高め激甚化・頻発化する自然災害に加え、人口減少など社会変化に対応できるまちづくりを目指すとともに、災害に強く人に優しい道路環境が整備されることを目指している。このことから高規格道路網等の整備推進について確実な事業の執行を要望するもの。

### 現 況

- **徳島南部自動車道**
  - ⇒ 徳島津田 IC～阿南 IC(仮)間は、整備中。
  - ⇒ 徳島 JCT～徳島沖洲 IC 間が令和 4 年 3 月に開通。
- **徳島自動車道**
  - ⇒ 速度低下の一因となるサグが 15 箇所存在。
  - ⇒ 暫定 2 車線区間が約 7 割。
  - ⇒ 通行止め時間ワーストランキングでは上位。
- **徳島環状道路**
  - ⇒ 徳島市中心部では国道 11 号、55 号、192 号が交差しているため交通の集中により渋滞が慢性化。

### 課 題

- **徳島南部自動車道**
  - ⇒ 高規格道路、空港、港湾を生かしたまちづくり。
  - ⇒ 京阪神圏への効率的な陸上輸送に課題。
- **徳島自動車道**
  - ⇒ 大規模災害時の物資輸送路の確保。
  - ⇒ 利用者の安全性、快適性、定時性、信頼性の確保が必要。
- **徳島環状道路**
  - ⇒ 都市内交通と通過交通を分散させることが必要。

地方創生の実現に不可欠な国土強靱化による高規格道路網等の整備を推進する必要がある

### 具体的要望内容

次について、特段のご配慮をお願いします。

#### 1. 高規格道路網等の整備推進について

- (1) 徳島南部自動車道
  - ・ 徳島津田 IC～阿南 IC(仮)間の整備推進
- (2) 徳島南環状道路の整備推進
- (3) 徳島自動車道の早期 4 車線化

#### 2. 道路関係予算の確保について

- (1) 令和 6 年度の道路関係予算については、所要額を確保すること
- (2) コロナ禍からの回復に向け地域経済を V 字回復させるため、今後の予算編成にあたっては、新たな財源の創設を含め道路関係予算総額の満額確保を図ること
- (3) 料金徴収期間の延長による財源を活用し、暫定 2 車線区間の 4 車線化に必要な財源の安定的な確保を図り、機能強化を着実に進めること

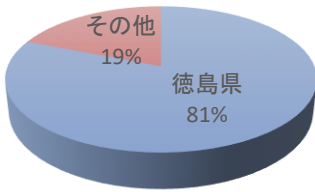
【徳島市担当部課】 都市建設部 広域道整備課



# 徳島南部自動車道延伸により 地域経済の好循環が加速

- 徳島JCT～徳島沖洲IC間の開通（R4.3）を契機に  
**LED出荷額増加の弾みと地域活性化に寄与**
- 徳島津田IC（フル化）許可を契機に  
**「陸・海・空の結節点」をより強化**
- 徳島市総合計画では、鳴門JCT～阿南IC(仮)間の整備を契機として  
**定住人口の増加、交流人口の拡大を目指す**

## LED出荷額 国内シェア 1位 (R2)



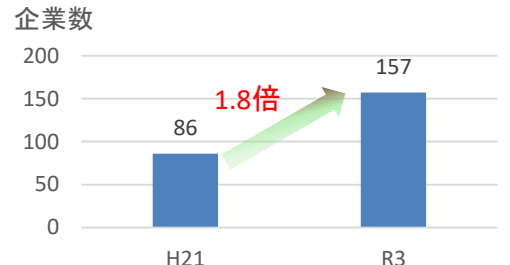
【経済産業省資料】

## LED出荷額の推移(徳島県)



【経済産業省資料】

## LED関連企業の集積推移(徳島県)



【徳島県資料】



● LED関連企業



# 4車線化により時間信頼性の向上、安全性の向上、 リダンダンシー機能の強化を！



徳島自動車道 各IC間の課題の評価一覧 (高速道路における安全・安心基本計画)

路線名	区間		優先整備区間	暫定車線の10%延長 [km]	対面通行区間延長 [km]	①時間信頼性の確保の観点			②事故防止の観点			③ネットワークの代替性確保の観点				
	自	至				25%以上速度低下区間延長 ※交通量5000台/日未満除く	H28事業化の課題者同士に挟まれた区間で30km以上の区間等	洪水回数	死傷事故件数	死傷事故率	運用率(年間通行止め時間) ※工事除く	積雪地かつ急勾配4%以上	特定更新等	並行環状に課題		
徳島道	川之江JCT	井川池田	◎	22	19	○	A	C	○	A	C	○	A	D	D	D
徳島道	井川池田	吉野川スマート	◎	5	3	○	C	D	○	B	B	○	A	D	D	D
徳島道	吉野川スマート	美馬	◎	16	11	○	A	C	○	A	C	○	A	D	D	D
徳島道	美馬	脇町	◎	12	5	○	B	D	○	A	B	○	B	D	D	D
徳島道	脇町	土成	◎	19	8	○	A	B	○	A	B	○	B	D	D	D
徳島道	土成	藍住	◎	13	9	○	A	B	○	B	C	○	B	D	D	D

【国土交通省資料】

**速度低下**

時間信頼性に難

**中央突破事故**

令和元年12月  
死者2名・約7時間通行止！  
安全・安心に難

**H28 通行止め時間ランキング**

区間	H28年度 通行止め時間	ワースト順位
土成IC～脇町IC	302hr/年	35位
脇町IC～美馬IC	300hr/年	37位
全国平均	31hr/年	

ネットワーク代替性に難

【国土交通省資料】

# 吉野川の直轄管理区間における 洪水・地震津波対策の促進について

< 主管省庁局 国土交通省 水管理・国土保全局 >

## 【要望の趣旨】

台風等の洪水による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震の津波被害の軽減を図るため、吉野川・今切川において必要な対策の計画的な実施に向け、治水事業費の予算確保について要望するとともに、直轄河川改修事業等の整備促進を要望するもの。

### 現 況

○今切川の洪水・地震津波対策  
⇒堤防や水門の無い地区や堤防の液状化対策を必要とする地区が存在する。

○飯尾川流域等の浸水被害  
⇒台風11号(H26)で、多数の家屋が浸水被害を受け、内水対策を中心とした要望や意見が相次いでいる。

### 課 題

●洪水や地震・津波による浸水被害が発生するため、無堤部対策や水門の設置、液状化対策の実施により、洪水や地震津波による浸水被害を防止する。

●内水被害の軽減に向け、ハード・ソフト対策の充実が必要である。

市民の安全で安心な生活を確保するため対策が必要である

### 具体的要望内容

徳島市は、雨水貯留施設や排水施設等の整備など、国と一体となって流域治水を推進しており、国においても、吉野川における直轄河川改修事業等の整備促進と新規箇所の早期事業化について、特段のご配慮をお願いいたします。

#### 1. 吉野川・今切川の洪水・地震津波対策

- (1)今切川の無堤地区への堤防整備及び堤防耐震対策の促進
- (2)今切川右岸榎瀬江湖川合流点への水門の新設
- (3)今切川右岸宮島江湖川合流点への水門の新設

#### 2. 内水対策

- (1)角ノ瀬排水機場の能力向上(20 m<sup>3</sup>/s→40 m<sup>3</sup>/s)
- (2)榎瀬江湖川における排水機場の新設
- (3)宮島江湖川における排水機場の新設

近年の気候変動による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の実現に向けて、流域治水対策の加速化を図るために必要な治水事業予算の最大限の確保と四国地方整備局や各事務所の職員の増強など組織体制の充実・強化をお願いいたします。

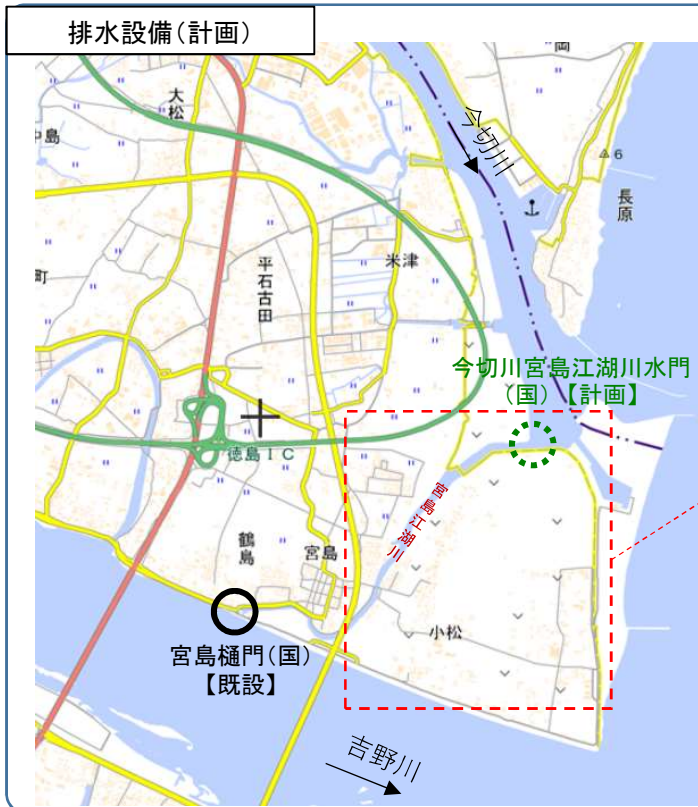
【徳島市担当部課】 都市建設部 河川水路課



# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

- 徳島市では、浸水区域の解消や浸水被害の軽減を図るため、雨水排水施設(川内地区)や雨水貯留施設(南沖洲地区)などの整備を実施していきます。
- 市独自の取り組みとして、「徳島市流域治水検討会議」で関係部局と連携体制を構築し、更なる流域治水対策の検討を進めます。



川内地区排水施設整備



南沖洲地区雨水貯留施設整備



ポンプ場施設整備

【白紙ページ】



徳島市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。